

コスト上昇分を全て価格転嫁できず収益圧迫、業況は足踏みづく

人手不足が深刻化、先行き見通し厳しい

～景況 DI 値は、前年同月比2.5ポイント上昇のマイナス5.3～

*DIとは景気の動きをとらえるための指標。「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

1. 7月鳥取県内の中小企業景況

売上（受注）高 製造業では、DI 値前月比同水準のプラスマイナス0、前年同月比5.3ポイント低下のマイナス42.1。非製造業では、前月比5.3ポイント低下のマイナス21.1、前年同月比36.8ポイント低下のプラス5.3。

販売（受注）価格 製造業では、DI 値前月比5.3ポイント低下のマイナス10.6、前年同月比5.2ポイント上昇のプラス15.7。非製造業では、DI 値前月比15.8ポイント上昇のプラス21.1、前年同月比5.3ポイント上昇のプラス52.6。

収益状況 製造業では、DI 値前月比10.4ポイント上昇のマイナス21.1、前年同月比5.2ポイント上昇のマイナス42.1。非製造業では、前月比31.6ポイント低下のマイナス47.4、前年同月比26.3ポイント低下のプラスマイナス0。

資金繰り 製造業では、DI 値前月比同水準のマイナス15.8、前年同月比5.2ポイント低下のマイナス36.8。非製造業では、前月比10.5ポイント低下のマイナス26.3、前年同月比10.5ポイント低下のマイナス10.5。

雇用人員 製造業では、DI 値前月比同水準のプラスマイナス0、前年同月比5.3ポイント低下のマイナス15.8。非製造業では、前月比15.8ポイント上昇のプラス5.3、前年同月比5.2ポイント上昇のマイナス5.3。

景況 製造業では、DI 値前月比15.8ポイント上昇のマイナス21.0、前年同月比5.3ポイント上昇のマイナス36.8。非製造業では、前月比31.7ポイント低下のマイナス21.1、前年同月比同水準のプラス26.3。

県内中小企業の景況は、全業種景況DI 値は、前月比7.9ポイント低下のマイナス21.1、前年同月比2.5ポイント上昇のマイナス5.3となった。製造業では、多くの業種で原材料価格、エネルギーコストの高止まりの影響が続いており、価格転嫁による収益確保に苦慮している。非製造業では、観光産業を中心に全国旅行支援終了による需要の低下が見受けられ業況は前月比で大きく低下したものの、前年同月比では夏休みに入りイベントの活発化も相まって横ばいで推移した。県内景況は、新型コロナが落ち着きをみせ、非製造業を中心に経済活動回復の動きが見られるものの、原材料やエネルギー等のコスト上昇による経費負担増に伴い消費マインドの低下が続いている。総じて、価格競争や取引先（消費者）の意向によりコスト上昇分を販売価格へ全て転嫁できていないため収益を圧迫、業況はほぼ横ばいで足踏み状態が続いている。また、人手不足が深刻化するなか、賃上げは大企業のようにはいかない状況にある。ウクライナ情勢や為替動向に改善の兆しは見られず、燃料価格や電力に関する補助金も減少傾向にあるなど、依然として先行き見通しは厳しい。

2. 企業倒産（株帝国データバンク調べ）

7月の全国倒産は、件数701件で、前年同月を40.5%上回り、15ヵ月連続で前年同月比増加となった。負債総額は1,804億7,000万円（負債総額1,000万円以上）で、前年同月を大幅に上回った。6ヵ月連続で1,000億円を超えたのは2018年11月以来、4年8ヵ月ぶり。

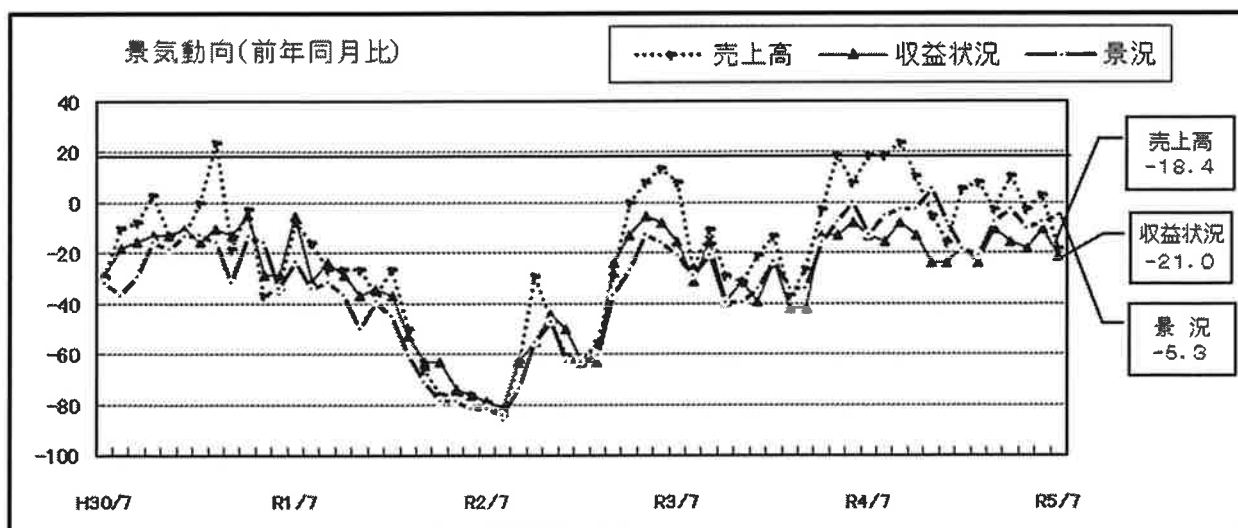
一方、7月の鳥取県内企業倒産は、倒産件数2件（前月1件）、負債総額は2億5,500万円（前月2,900万円）であった。

3. 労働情勢（鳥取労働局職業安定課調べ「労働市場月報6月分」）

鳥取県の6月の有効求人倍率（パートを含む速報値）は1.44倍（季節調整値）（全国有効求人倍率は1.30倍）で、前月と同水準。各所別有効求人倍率（原数値）では、鳥取所1.23倍、米子所1.47倍、倉吉所1.54倍。新規求人倍率（パートを含む速報値）は2.80倍（季節調整値）で、前月より0.33ポイント上昇した。

新規求人数は、前年同月比5.3%減少し、有効求人数も5.2%減少となった。産業別に前年同月で比較すると、宿泊業・飲食サービス業（17.0%）、医療・福祉（10.1%）、卸売業・小売業（7.3%）で増加した。

新規求職者数は、前年同月比6.2%減少、有効求職者数は前年同月比1.4%減少となった。パートタイムの有効求人倍率（原数値）は1.20倍で、前年同月を0.04ポイント下回った。新規求人数は前年同月に比べ1.5%減少した。



7月の中小企業景況

前月比	製 造 業			非 製 造 業			全 業 種		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
(1)売 上 高	21.1%	21.1%	0.0 0.0	26.3%	47.4%	-21.1 -5.3	23.7%	34.2%	-10.5 -2.6
(2)在庫数量	5.3%	10.5%	-5.2 -15.7	8.3%	0.0%	8.3 8.3	6.5%	6.5%	0.0 -6.4
(3)販売価格	10.5%	21.1%	-10.6 -5.3	21.1%	0.0%	21.1 15.8	15.8%	10.5%	5.3 5.3
(4)取引条件	5.3%	10.5%	-5.2 -5.2	0.0%	5.3%	-5.3 -5.3	2.6%	7.9%	-5.3 -5.3
(5)収益状況	10.5%	31.6%	-21.1 10.4	0.0%	47.4%	-47.4 -31.6	5.3%	39.5%	-34.2 -10.5
(6)資金繰り	0.0%	15.8%	-15.8 0.0	0.0%	26.3%	-26.3 -10.5	0.0%	21.1%	-21.1 -5.3
(7)設備操業度	5.3%	10.5%	-5.2 5.3						
(8)雇用人員	10.5%	10.5%	0.0 0.0	5.3%	0.0%	5.3 15.8	7.9%	5.3%	2.6 7.9
(9)景 況	5.3%	26.3%	-21.0 15.8	0.0%	21.1%	-21.1 -31.7	2.6%	23.7%	-21.1 -7.9

前年同月比	製 造 業			非 製 造 業			全 業 種		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
(1)売 上 高	5.3%	47.4%	-42.1 -5.3	31.6%	26.3%	5.3 -36.8	18.4%	36.8%	-18.4 -21.0
(2)在庫数量	5.3%	26.3%	-21.0 -10.5	16.7%	8.3%	8.4 0.0	9.7%	19.4%	-9.7 -6.5
(3)販売価格	36.8%	21.1%	15.7 5.2	57.9%	5.3%	52.6 5.3	47.4%	13.2%	34.2 5.3
(4)取引条件	5.3%	21.1%	-15.8 5.2	0.0%	10.5%	-10.5 10.6	2.6%	15.8%	-13.2 7.9
(5)収益状況	0.0%	42.1%	-42.1 5.2	26.3%	26.3%	0.0 -26.3	13.2%	34.2%	-21.0 -10.5
(6)資金繰り	5.3%	42.1%	-36.8 -5.2	15.8%	26.3%	-10.5 -10.5	10.5%	34.2%	-23.7 -7.9
(7)設備操業度	0.0%	31.6%	-31.6 0.0						
(8)雇用人員	5.3%	21.1%	-15.8 -5.3	10.5%	15.8%	-5.3 5.2	7.9%	18.4%	-10.5 0.0
(9)景 況	5.3%	42.1%	-36.8 5.3	26.3%	0.0%	26.3 0.0	15.8%	21.1%	-5.3 2.5

*D I とは、デフュージョン・インデックスの略。D I 欄上段は、「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

*D I 欄下段は、今月調査D I（上段）から前月調査D Iを差し引いた値。

4. 特記事項(景況の変化とその原因・現状等企業経営・業界での問題点)

製 造 業

【食料品】

一般食料品⇒ 菓子製造業を中心に原材料全般の高騰(特に卵の急激な高騰)、電気代の高止まりにより、収益は悪化している。10%前後の製品値上げを行っているが、根本的な収益の改善には至っていない。

醬 油⇒ 春先に商品の値上げを実施したが、出荷量も減少したため、収益の改善には至っていない。

【繊維工業】

繊維製品⇒ お盆前の需要はあったものの、気温の関係もあり、秋・冬物の需要が低迷気味となった。お盆明けからの動きが予想されているが、現状は例年に見ないほど受注量が減少している。自動車用シートは、自動車用半導体不足により、国内の自動車製造自体が減産となっているため、売上高は減少傾向となっている。

ニット製品⇒ 輸入品中心の衣料品は供給過剰のため、低価格競争からの脱却ができていない。国内メーカーは原材料等諸経費の高騰が続いており、価格転嫁も追いつかない状況が続いている。

【家具装備品】

⇒ 売上高は前月比で増加、前年同月比で横ばいとなった。物価高により販売価格は上昇したが、それ以上に仕入価格や経費が上昇しており、先行きは引き続き厳しい。

【木材・木製品】

製 材 品⇒ 製材用素材の入荷量は前月比で横ばい、製材品の生産量は前月比でやや増加した。合板の生産量も前月比で増加となった。丸太の出材は増加しているが、引き合いは弱く、価格も引き続き弱含みとなっている。製材品の動きも足踏み状態で活発さは感じられない。プレカット加工の稼働率は、前月比100%増加、前年同月比10%減少となった。

【紙・加工品】

和 紙⇒ 取引先である印刷業者、販売店の廃業・倒産の動きがあり、与信管理が厳しい。前月比で販売価格は上昇したものの収益の改善には至らず、業況は引き続き不透明な状況が続いている。

【印 刷】

⇒ 夏の閑散期に入り、売上は前月比、前年同月比とも低調に推移した。新型コロナが5類移行し、観光、飲食、イベント開催などの動きも増えるなか、10～11月納品の見積もり依頼が増えつつあり期待が持たれる。

【窯業・土石製品】

生 コ ン⇒ 7月の生コン出荷量は、前月比で約12%減少、前年同月比で3%増加となった。東部地区を中心に引き合いが極端に弱く、前年割れが続いている。セメント価格の値上げに加え、燃料費高騰が収益を圧迫しており、生コン価格への転嫁に苦慮している。こうしたなか若手人材の確保が課題となってい

る。

【金属製品】

金属加工⇒ 建築関係は、遅れていた物件が重なったことで受注量が増加したものの一時的であり、年内の受注量は少なく価格も弱含みで厳しい状況が予想される。県内は物件が少なく、県外物件を受注できている事業所は多忙となっているが、全国的な建築需要の停滞により、地方の中小企業の状況は厳しい。機械加工は、受注を確保できているものの、全体的に弱含みとなっている。工作機械・産業機械関係は受注が減少傾向となっており、自動車関係も年内の受注は厳しい状況となっている。

鉄骨加工⇒ 県内発注の物件量が公共・民間ともに少なく、県内の案件のみを対象としている企業は受注量確保に苦慮している。材料費の高騰をはじめ、溶材など副資材や電気代の上昇など、工場の負担は大きく収益に大きな影響が出ている。

金属熱処理⇒ 7月も受注状況は低迷しており、業況は出口の見えない状況が続いている。各経費の上昇分を単価に反映したいが、取引先の理解が得られ難い状況も散見される。また、電気料金の補助が切れると利益確保がますます困難となる。

【電気機械器具】

⇒ 部材の調達は安定してきたが、依然として人手不足が続いている。受注は先行き不透明になりつつある。賃上げ、電気代等の高騰による製造原価のアップ分を価格転嫁できる状況ではなく、利益確保は難しい。

非製造業

【卸売業】

東部地区⇒ 青果関係では、取扱数量は前月比、前年同月比ともに減少した。売上高は前月比で低下したものの、前年同月比では単価の上昇により増加した。鮮魚関係では、取扱数量は前月比で減少、前年同月比で増加しており、増加傾向が続いている。売上高は、前月比、前年同月比ともに減少した。

中部地区⇒ 引き続き法施行が迫るインボイス制度や、電子帳簿保存法改正について対応の動きが本格化し始めており、それに伴う需要増の動きも散見される。前年同月比で販売価格は上昇したものの、売上、収益状況とも厳しい。

西部地区⇒ 新型コロナの5類移行を契機とした対面営業や展示会等が再開されつつある。一方6月からの食料品、消耗品等の値上げに加え、電気料金のさらなる値上げによる原価への影響が懸念される。運送関係の2024年問題に係るコストアップも予想される。

水産物⇒ 巻き網はウルメ、小サバの混獲漁が続くも大漁日がなく、前年同月を若干下回る水揚げとなった。天然本マグロ漁は今月に入り脂落ちも目立ったものの高安定の浜値で推移し、19日で漁獲枠を消化した。本来この時期に獲れるブリ類は単発的な水揚げであり、アジに関しては極小型が多く鮮魚向けの魚が乏しい月となった。今年もイカ類の水揚げも振るわず夏枯れ状態に突入した模様。総じて、前年同月比で売上は減少したものの、販売価格は上昇し、収益状況も改善した。

リサイクル原料⇒ 価格動向については、前月比で横ばい、前年同月比で低下となった。資源

物の回収量減少が続いており、業況は引き続き厳しい。

【小売業・商店街】

東 部 地 区⇒ 鳥取の商店街では、4年ぶりとなる土曜夜市を本通商店街で開催。地元アーティストやダンスのステージ、スイカ割り、キャンドル装飾、商店街店舗やキッチンカーの出店等で通りを演出し、当日は多くの来場者を迎え、大いに賑わいを見せた。ホテル、飲食もイベントの増加に伴い、県外客が増え、人流が少しずつ戻ってきているものの、物販はまだまだ厳しさが続いている。生活におけるコストの上昇が心理的に与える影響が大きく、一段と消費意欲が減退している。新型コロナが落ち着きをみせ需要が増加基調にあるものの、光熱費やガソリン代等コストの上昇で収益面は厳しく、景況は先行き不透明な状況が続いている。こうしたなか、人手不足が大きな課題となっている。

中 部 地 区⇒ 倉吉の商店街では、酷暑により人流は低下傾向となった。7月22日、29日には倉吉銀座商店街にて土曜夜市を実施。歩行者天国とし、バス通りにミニ新幹線、ミニSLを走らせ、子供たちは大変喜んだ。夏休みや新型コロナの5類移行が契機となり、大いに賑わいを見せた。8月は倉吉打吹まつりにおいての『みつぼしおどり』、伝統の大綱引き『じんしょ』の62年ぶりの復活などが予定されており、引き続き賑わい創出に期待が持たれる。

西 部 地 区⇒ 米子の商店街では、広場と通りを使った「土曜夜市」を開催した。天候にも恵まれ、約5,000人の来場者で賑わいを見せた。8月は広場を使ったイベント『まちなか音楽祭』の開催を予定している。

境港市の水産物小売では、インバウンドが徐々に回復傾向にあり、外国人観光客が増えつつある。今後も境港にクルーズ船の入港が増えるため、インバウンド需要に期待が持たれる。

【旅館・観光】

⇒ 鳥取市の鳥取砂丘では、梅雨で悪天候の日が多く観光客の入込数は減少傾向で推移した。梅雨明け後は猛暑もあり、一般観光客、バスツアーともに低調であった。売上高は前月比で減少、前年同月比では増加した。

米子市のホテル・旅館では、海水浴や夏休み等増加要因はあるものの、全国旅行支援が6月で終了したことから前月比では日帰り、宿泊客ともに減少したことで売上高は減少、収益状況も悪化した。前年同月比も入込客全体の減少により売上は減少、収益状況も悪化した。人手不足と設備の老朽化が当面の課題となっている。

三朝温泉では、全国旅行支援の終了とともに客足が遠のいたものの、7月下旬からは花火や夜市のイベントにより家族連れを中心に増加傾向が見られた。7月末にはキュリー祭が開催され、大変賑わいを見せた。

羽合温泉では、7月の宿泊は全国旅行支援の終了に伴う影響もあり、特に前半は宿泊の動きが鈍化した。後半以降は新型コロナの5類移行後初めての夏休みということもあり、ファミリー層の動きが活発になってきて、新型コロナ前に近い状況に持ち直したが、全体的には前年同月比より10～15%の増加に留まった。

【自動車整備業】

⇒ 新車の販売は普通車、軽自動車を含わせて2,085台で前月比が約8%減少、前年同月比は約5%の増加となった。中古車は660台で前月比約1

0%減少、前年同月比は約0.2%減少した。継続検査（軽自動車を含む）は14,837台となり前月比で約9%減少、前年同月比は約2%増加した。普通車の新車の供給は改善、軽自動車は悪化の状況となっている。

【建設業】

⇒ 6月の県内公共工事発注（西日本建設業保証㈱保証取扱）は、請負金額91億円（前年同月比約4%増加）、件数180件（前年同月比約1%増）となった。住宅投資は、単月、3ヵ月平均ともに前年同月比プラスとなった。設備投資も単月、3ヵ月平均ともに前年同月比プラスが続く。公共投資についても単月、年度累計ともにプラスとなり、全体の基調として持ち直しつつあるものの、建設資材やエネルギーの高止まり、技術者の高齢化や深刻な人手不足が続くうえ、2024年問題への対応に苦慮している。

6月の鳥取県新設住宅着工戸数は251戸（持家212戸、貸家39戸）で、前月比2%減少、前年同月比13%増加となった。

【運輸業】

東部地区⇒ 7月の物流は、製造業などの出荷量に微増傾向が見られたほか、好天で季節商品が増えており全般に出荷物の増加が見られた。復路荷物の発注情報量は増加しているが、荷物の不足傾向は続き空車運行も増えている。売上高は前月比で増加、前年同月比で横ばいとなった。引き続き燃料価格の値上がり幅が大きく、収益率は悪化するなど業況は厳しい状況が続いている。

西部地区⇒ 7月の燃料価格については、燃料油価格激変緩和補助金の縮小や円安の影響を受け6月以降増加、8月の燃料価格も大幅な増加が見込まれており、収益の圧迫が懸念される。2024年問題によるコスト負担増とともに、懸念材料が山積している。また、運送稼働状況については若干持ち直し、地場農産品についても好天に恵まれ、順調に推移したものの、燃料価格の高騰により収益状況は悪化傾向にある。

5. 中央会・行政庁への連絡要請事項

- ・国土強靱化事業に対し、県として国への予算要求に力点を置いてほしい。【生コンクリート製造業】
- ・過去に例を見ないほど新規工事が少なく、立ち行かない工場が出てくる恐れもあるため早急に対応を求める。【生コンクリート製造業】
- ・収益が上がっている大企業同様に、中小企業も価格転嫁が可能となるような施策を望む。【金属熱処理業】
- ・エネルギー価格をはじめ、コストの高騰に対する支援を望む。また、飲食に限らず業種に偏りのない需要喚起策を望む。【商店街】
- ・イベント時のトイレなど設備設置の対応。【商店街】
- ・ここ数年の景況悪化も多大であり、全国旅行支援も終了となったため引き続き支援策を打ち出してほしい。【旅館業】

最近の指標の前月比D I の推移

		2022年												2023年	
		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	前年との増減幅
売上高	製造業	10.5	-21.0	21.0	-10.5	-15.8	-10.5	-31.5	-10.5	0.0	-10.5	-15.8	0.0	0.0	-10.5
	非製造業	0.0	0.0	-5.3	15.7	26.3	-10.5	-36.9	31.6	57.9	-57.9	5.2	-15.8	-21.1	-21.1
	全業種	5.2	-10.5	7.9	2.6	5.3	-10.5	-34.2	10.5	28.9	-34.2	-5.3	-7.9	-10.5	-15.7
在庫数量	製造業	21.1	5.2	5.2	-5.2	0.0	-10.5	5.2	0.0	0.0	5.3	10.5	10.5	-5.2	-26.3
	非製造業	0.0	-8.3	-8.4	8.4	8.4	8.3	8.4	8.3	16.7	0.0	0.0	0.0	8.3	8.3
	全業種	12.9	0.0	0.0	0.0	-3.2	-3.2	6.4	3.2	6.7	3.2	6.5	6.4	0.0	-12.9
販売価格	製造業	26.3	26.3	21.1	21.1	26.3	26.3	21.0	21.1	0.0	5.3	0.0	-5.3	-10.6	-36.9
	非製造業	36.8	26.3	5.3	31.5	42.1	26.3	10.6	15.8	15.8	-10.6	10.6	5.3	21.1	-15.7
	全業種	31.6	26.3	13.2	26.3	34.2	26.3	15.8	18.4	7.9	-2.6	5.3	0.0	5.3	-26.3
取引条件	製造業	5.2	0.0	-5.3	-15.8	-10.5	-10.5	-5.3	-10.5	0.0	-5.3	0.0	0.0	-5.2	-10.4
	非製造業	-5.3	-5.3	-5.2	0.0	-5.3	0.0	-5.3	-5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	-5.3	0.0
	全業種	0.0	-2.7	-5.3	-7.9	-7.9	-5.3	-5.3	-7.9	0.0	-2.6	0.0	0.0	-5.3	-5.3
収益状況	製造業	-15.8	-26.3	-15.8	-26.3	-36.8	-26.3	-31.6	-31.6	-5.2	-26.3	-15.8	-31.5	-21.1	-5.3
	非製造業	-15.8	-5.2	-15.8	10.5	15.8	-5.3	-31.5	0.0	21.1	-42.1	-10.5	-15.8	-47.4	-31.6
	全業種	-15.8	-15.8	-15.7	-7.9	-10.5	-15.8	-31.6	-15.8	7.9	-34.2	-13.2	-23.7	-34.2	-18.4
資金繰り	製造業	-10.5	-10.5	-10.5	-5.3	-10.5	-5.3	-5.2	-21.1	-10.5	-15.8	-10.5	-15.8	-15.8	-5.3
	非製造業	0.0	0.0	-21.1	10.5	15.8	-15.8	-15.8	0.0	10.5	-26.3	0.0	-15.8	-26.3	-26.3
	全業種	-5.3	-5.2	-15.8	2.6	2.6	-10.5	-10.6	-10.5	0.0	-21.1	-5.2	-15.8	-21.1	-15.8
設備操業度	製造業	5.3	-10.6	0.0	-10.6	10.5	-21.1	-5.3	-5.3	0.0	-21.1	-10.5	-10.5	-5.2	-10.5
雇用人員	製造業	-5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-10.5	-5.3	-10.5	0.0	-5.3	0.0	0.0	5.3
	非製造業	0.0	15.8	-5.3	5.3	0.0	-5.3	-15.8	-5.3	0.0	5.3	10.5	-10.5	5.3	5.3
	全業種	-2.6	7.9	-2.6	-2.6	0.0	-2.6	-13.2	-5.3	-5.2	2.7	2.7	-5.3	2.6	5.2
景況	製造業	-10.5	-1.5	-26.3	-36.8	-31.5	-26.3	-36.8	-42.1	-26.3	-31.6	-36.8	-36.8	-21.0	-10.5
	非製造業	-21.1	5.2	-26.3	0.0	15.8	0.0	-31.5	5.3	21.1	-15.8	15.8	10.6	-21.1	0.0
	全業種	-15.7	-2.6	-26.3	-18.4	-7.9	-13.2	-34.2	-18.4	-2.6	-23.6	-10.6	-13.2	-21.1	-5.4

最近の指標の前年同月比D I の推移

		2022年												2023年	前年との 増減幅
		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	
売上高	製造業	5.3	5.3	0.0	-5.3	-10.5	-36.8	-26.3	-15.8	-36.8	-31.6	-31.6	-36.8	-42.1	-47.4
	非製造業	31.6	31.5	47.4	26.4	0.0	5.3	36.9	31.6	31.6	52.6	26.3	42.1	5.3	-26.3
	全業種	18.4	18.4	23.6	10.5	-5.3	-15.8	5.3	7.9	-2.7	10.5	-2.6	2.6	-18.4	-36.8
在庫数量	製造業	10.6	21.1	21.1	15.8	10.5	5.3	10.5	0.0	-10.5	5.3	-5.3	-10.5	-21.0	-31.6
	非製造業	16.7	25.0	-16.7	0.0	-16.7	8.3	16.7	16.7	16.7	8.4	8.4	8.4	8.4	-8.3
	全業種	12.9	22.6	6.4	9.6	0.0	6.5	12.9	6.5	0.0	6.5	0.0	-3.2	-9.7	-22.6
販売価格	製造業	42.1	42.1	47.4	47.4	57.9	47.4	31.5	36.8	21.0	26.3	26.3	10.5	15.7	-26.4
	非製造業	42.1	42.1	36.9	36.8	10.5	42.1	52.6	21.1	26.3	36.8	36.9	47.3	52.6	10.5
	全業種	42.1	42.1	42.1	42.1	34.2	44.7	42.1	28.9	23.6	31.6	31.5	28.9	34.2	-7.9
取引条件	製造業	0.0	0.0	-5.2	-15.8	0.0	0.0	-5.2	-5.3	-5.2	-10.5	-5.2	-21.0	-15.8	-15.8
	非製造業	5.3	-15.8	-5.3	5.3	-10.5	-10.5	-5.3	-15.8	-21.1	-15.8	-15.8	-21.1	-10.5	-15.8
	全業種	2.7	-7.9	-5.3	-5.3	-5.3	-5.3	-5.3	-10.5	-13.8	-13.2	-10.5	-21.1	-13.2	-15.9
収益状況	製造業	-31.6	-36.8	-36.9	-47.3	-42.1	-42.1	-57.9	-63.2	-52.6	-52.6	-47.3	-47.3	-42.1	-10.5
	非製造業	5.3	5.3	21.0	21.0	-5.3	-5.3	21.1	15.8	31.6	21.0	10.5	26.3	0.0	-5.3
	全業種	-13.1	-15.8	-7.9	-13.1	-23.7	-23.7	-18.4	-23.7	-10.5	-15.7	-18.4	-10.5	-21.0	-7.9
資金繰り	製造業	-21.1	-10.5	-5.3	-26.3	-10.5	-10.5	-15.8	-31.6	-31.6	-42.1	-42.1	-31.6	-36.8	-15.7
	非製造業	-5.3	-10.5	10.6	15.8	5.3	-5.3	5.3	5.3	5.3	0.0	-10.6	0.0	-10.5	-5.2
	全業種	-13.2	-10.5	2.6	-5.2	-2.7	-7.9	-5.3	-13.2	-13.2	21.0	-26.3	-15.8	-23.7	-10.5
設備操業度	製造業	-5.3	0.0	-10.6	-10.5	0.0	-15.8	-15.8	21.1	-15.8	-21.1	-21.0	-31.6	-31.6	-26.3
雇用人員	製造業	-5.3	-5.3	-5.2	-10.5	0.0	5.3	-10.5	-10.5	-15.8	-10.5	-15.8	-10.5	-15.8	-10.5
	非製造業	-10.6	0.0	-5.3	0.0	-5.2	-15.8	-10.6	10.5	-5.3	-5.3	-10.5	-10.5	-5.3	5.3
	全業種	-7.9	-2.6	-5.3	-5.2	-2.6	-5.3	-10.5	0.0	-10.5	-7.9	-13.1	-10.5	-10.5	-2.6
景況	製造業	-21.0	-15.8	-15.8	-21.0	-10.5	-21.1	-31.6	-42.1	-42.1	-31.6	-42.1	-42.1	-36.8	-15.8
	非製造業	-5.3	5.3	10.5	15.8	21.1	5.3	-5.2	0.0	26.3	26.3	21.1	26.3	26.3	31.6
	全業種	-13.1	-5.2	-2.6	-27.0	5.3	-7.9	-18.4	-21.1	-7.9	-2.6	-10.5	-7.8	-5.3	7.8

情報連絡員報告総括表(令和5年7月分)

鳥取県中小企業団体中央会
連絡員総数38名
回 答 数 38(100%)

1-1 業界の景気動向(前月比)

	売上			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員			業界の景況				
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	好転	不変	悪化		
製 造	食料品	0	1	1	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	1	1	0	1	0	1	1	1	1	0	0	2	0		
	繊維工業	0	2	1	1	2	0	0	3	0	0	3	0	0	2	1	0	2	1	0	3	0	3	0	0	2	1		
	木材・木製品	3	1	0	0	3	1	1	2	1	0	3	1	1	3	0	0	3	1	1	3	0	1	3	0	1	3		
	紙・紙加工品	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1		
	出版・印刷	0	1	1	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	1	1	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2		
	化学ゴム																												
業	窯業・土石製品	1	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1		
	鉄鋼・金属	0	2	0	0	2	0	0	0	2	0	1	1	0	0	2	0	2	0	0	1	1	0	2	0	0	2		
	一般機器	0	3	0	0	3	0	0	2	1	1	2	0	1	2	0	0	3	0	0	3	0	0	2	1	0	3		
	電気機器	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1		
	輸送用機器																												
	その他																												
非 製 造	卸売業	19	4	11	4	1	16	2	2	13	4	1	16	2	2	11	6	0	16	3	1	16	2	2	15	2	1	13	
	小売業	100%	21.1%	57.9%	21.1%	5.3%	84.2%	10.5%	10.5%	68.4%	21.1%	5.3%	84.2%	10.5%	10.5%	57.9%	31.6%	0.0%	84.2%	15.8%	5.3%	84.2%	10.5%	10.5%	78.9%	10.5%	5.3%	68.4%	26.3%
	商店街		0	3	3	0	6	0	2	4	0	0	6	0	0	5	1	0	6	0				0	6	0	0	6	
	サービス業		0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0			0	1	0	0	1	0	
	建設業		2	2	0	1	3	0	0	4	0	0	3	1	0	4	0	0	4	0			1	3	0	0	4	0	
	運輸業		0	0	5			0	5	0	0	5	0	0	0	5	0	2	3				0	5	0	0	1	4	
業	建設業	1	0	0			1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1			0	1	0	0	1	0	
	運輸業	2	0	0			1	1	0	0	2	0	0	1	1	0	1	0	1			0	2	0	0	2	0		
	その他																												
業	卸売業	19	5	5	9	1	10	0	4	15	0	0	18	1	0	10	9	0	14	5			1	18	0	0	15	4	
	小売業	100%	26.3%	26.3%	47.4%	8.3%	83.3%	0.0%	21.1%	78.9%	0.0%	0.0%	94.7%	5.3%	0.0%	52.6%	47.4%	0.0%	73.7%	26.3%			5.3%	94.7%	0.0%	0.0%	78.9%	21.1%	
	建設業	38	9	16	13	2	26	2	6	28	4	1	34	3	2	21	15	0	30	8	1	16	2	3	33	2	1	28	
業	卸売業	100%	23.7%	42.1%	34.2%	6.5%	83.9%	6.5%	15.8%	73.7%	10.5%	2.6%	89.5%	7.9%	5.3%	55.3%	39.5%	0.0%	78.9%	21.1%	5.3%	84.2%	10.5%	7.9%	86.8%	5.3%	2.6%	73.7%	23.7%
	小売業																												
	建設業																												

鳥取県中小企業団体中央会
連絡員総数38名

回答数 38(100%)

	売上			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員			業界の景況					
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	低下	好転	悪化	不変	悪化	好転	悪化	好転	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	好転	悪化					
製造業	食料品	0	0	2	0	0	2	2	0	0	1	1	0	0	2	0	0	0	1	1	0	1	1	1	1	0				
	繊維工業	0	2	1	1	2	0	1	2	0	0	3	0	0	2	1	0	3	0	0	2	0	2	1	0	2				
	木材・木製品	0	2	2	0	2	2	1	1	2	0	2	2	0	3	1	0	2	0	3	1	1	3	0	0	2				
	紙・紙加工品	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0				
	出版・印刷	0	1	1	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	2	0	0	2				
	化学ゴム																													
	窯業・土石製品	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1				
	鉄鋼・金属	0	0	2	0	2	0	0	0	2	0	1	1	0	0	2	0	0	2	0	2	0	2	0	0	2				
	一般機器	1	2	0	0	3	0	1	2	0	0	2	1	0	2	1	1	1	0	2	1	0	2	1	0	2				
	電気機器	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1				
輸送用機器																														
その他																														
非製造業	卸売業	19	1	9	9	1	13	5	7	8	4	1	14	4	0	11	8	1	10	8	0	13	6	1	14	4	1	10	8	
	小売業	100%	5.3%	47.4%	47.4%	5.3%	68.4%	26.3%	36.8%	42.1%	21.1%	5.3%	73.7%	21.1%	0.0%	57.9%	42.1%	5.3%	52.6%	42.1%	0.0%	68.4%	31.6%	5.3%	73.7%	21.1%	5.3%	52.6%	42.1%	
	商店街		1	2	3	1	4	1	3	2	1	0	6	0	1	4	1	0	6	0				0	5	1	1	5	0	
	サービス業		0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0				0	1	0	0	1	0	
	建設業		2	2	0	1	3	0	2	2	0	0	3	1	1	2	1	0	2	2				1	2	1	0	4	0	
	運輸業		3	1	1			4	1	0	0	4	1	3	1	1	3	1	1	1				1	4	0	4	1	0	
	その他		0	1	0			1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1				0	1	0	0	1	0	
			0	1	1			1	1	0	0	2	0	0	1	1	0	1	0	1				0	1	1	0	2	0	
その他	19	6	8	5	2	8	1	11	7	1	0	17	2	5	9	5	3	11	5											
	100%	31.6%	42.1%	26.3%	16.7%	66.7%	8.3%	57.9%	36.8%	5.3%	0.0%	89.5%	10.5%	26.3%	47.4%	26.3%	15.8%	57.9%	26.3%											
	38	7	17	14	3	21	6	18	15	5	1	31	6	5	20	13	4	21	13	0	13	6	3	28	7	6	24	8		
100%	18.4%	44.7%	36.8%	9.7%	67.7%	19.4%	47.4%	39.5%	13.2%	2.6%	81.6%	15.8%	13.2%	52.6%	34.2%	10.5%	55.3%	34.2%	0.0%	68.4%	31.6%	7.9%	73.7%	18.4%	15.8%	63.2%	21.1%			